

5 学生の受け入れ

進捗状況報告

学科別入試を実施して2年が経過したが、現在、その成果を評価するための準備作業としてその結果の追跡調査を継続している段階である。一定期間経過後にその成果を評価する予定。また、一般入試の比率を全学的目標である50パーセントまで低下させるべく、全学的な取り組みの中で着々と作業を進め、具体的に施策を行っている。最適な入学者選抜方法やそれぞれの募集人員については、引き続き検討している。AO入試の見直し作業に昨年度より着手しており、現在継続中である。特筆すべき点としては、経済学部との連携コース（地域政策コース）が来年度より新設（予定）されることがあげられる。

学内第三者評価

2006年度から学科別入試を導入し、現在その成果について検討段階にあるようであるが、入試制度を常に見直していることは評価できる。また、入試種別ごとの入学者数の比率を見直し、指定校推薦による入学者を積極的に増やすなど、多様な学生の確保に努力している。さらに、AO入試においてはコミュニケーション能力に優れ、リーダーとしての資質の高い人材の育成を目指すなど、入学試験におけるアドミッションポリシーを明確にしていることなどが評価できる。学科別入試だけでなく、多様な選抜方法で入学してきた学生の追跡調査を実施し、それぞれの選抜方法の適切性について検証が望まれる。また、来年度より実施される経済学部との連携コースに、新しい展開を期待する。

なお、特別委員から以下の意見があった。
・学科別入試の追跡調査による検証に期待したい。